

令和4年度 学校経営グランドデザイン（3年計画・3年次）

学校経営の基本方針

「人がまちをつくり、まちが人を育む学びの循環のもと、たくましく、しなやかに自立する人を育てる」ことを基本理念とする「仙台市教育構想2021」に則り、「たくましく、しなやかに自立する子供の育成」を目指す「杜の都の学校教育」を基にして、児童・保護者・地域・教職員が連携・協働して、未来の創り手となるために必要な資質・能力を児童に育成する学校を目指す。

学校経営の基本理念

児童・保護者・地域・教職員が「共に育ち、共に育てる」学校をつくる。

学校ビジョン

学校教育目標【目指す子供像】

豊かな心とたくましさを持ち、身に付けた知識・技能を生かして、共に考え、伝え、行動する子供の育成

協働型学校評価の到達目標

相手の話をよく聴き、自分の思いや考えを言葉にして伝える子供の育成

令和4年度の協働型学校評価の重点目標

自分から進んで、心と言葉をつなぐあいさつをしよう。
～目をつなごう！～

学校の使命【目指す学校像】

共に育ち、共に育てる学校

<児童に対して>

豊かな心とたくましさを持ち、身に付けた知識・技能を生かして、共に考え、伝え、行動する力を育成する学校

<保護者に対して>

教職員と思いや願いを共有し、子供のよりよい成長に向けて、共に考え、育てる学校

<地域に対して>

将来の社会を担う子供について、共に考え、育て、共に活性化する学校

<教職員にとって>

児童・同僚・保護者・地域と、共に考え、行動し、達成感や働きがいを感じる学校

重点目標

- 自分と他者の思いや考えを認め大切にする心の育成
- 身に付けた知識・技能を生かして、共に考え、伝え、行動する力の育成
- 基本的な生活習慣を基盤としたたくましい心身の育成

令和4年度の重点目標

- 自分と他者の思いや考えを大切にし、共に考え、伝え、行動する子供の育成

学校経営の重点

地域と共に歩み、信頼される学校づくり

- 子供たちの安全・安心の確保（特に新型コロナウイルス感染拡大防止）
- 校内研究の推進による学校教育目標の実現
<校内研究課題>
生活科・総合的な学習の時間を核とした児童・保護者・地域・教職員の協働を目指したカリキュラムの創造
- 学校・保護者・地域の連携・協働の推進
- コミュニティ・スクールの導入を視野に入れた「社会に開かれたカリキュラム」の実現
- 協働型学校評価を生かした指導の充実
- 教職員がより子供に向き合える体制づくり
- 教職員の資質・力量の向上による達成感ややりがいの向上
- 子供の学びの成果や成長した姿の積極的な情報発信による学校理解の推進

わが校の特色（強み）

- 素直でやさしい子供が多い。
- 男女分け隔てなく関わることができる子供が多い。
- 読書に親しむ子供が多い。
- 学校の取組に協力的な保護者が多い。
- 地域内に豊かな学習素材（人・もの・こと）が存在する。
- 地域内に幼稚園・保育所、中学校、高等学校、大学が存在する。
- 地域内に学校の取組に協力的な方が多く住んでいる。
- 地域を愛し、地域の課題や将来を考え、主体的に活動する方が多い。
- いじめや生徒指導等の問題に組織的に対応している。
- 教職員は何事にも真摯に取り組んでいる。
- 高い専門性を有した教職員がいる。

具体的教育活動・取組

自分と他者の思いや考えを認め大切にする心の育成	身に付けた知識・技能を生かして共に考え、伝え、行動する力の育成	基本的な生活習慣を基盤としたたくましい心身の育成
<ul style="list-style-type: none"> ■ 道徳教育の要である道徳科の授業の充実（「考える道徳」や「議論する道徳」への転換） ■ いじめ防止・不登校対策の組織的な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校全体での解決に導く確実な対応 ・ 委員会活動での子供の主体性を生かした取組 ・ ふわふわ言葉の実践・啓発 ・ 年4回のいじめアンケート調査による状況把握 ■ 命を大切に授業の実施 ■ あいさつ運動の実施 ■ 異学年・異年齢交流の積極的導入 ■ 学習室との交流及び共同学習の充実 ■ 読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生活科・総合的な学習の時間の充実 ■ 様々な人と交流し、関わりを深める学習・活動の実施 ■ 学習支援ボランティア（学びのパートナー）の活用 ■ 主体的・対話的で深い学びの推進 ■ 分かる授業の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・ 少人数や専科指導等、指導体制の充実 ・ 「桜丘スタイル」の授業への導入 ・ 学習の見通しとめあての提示 ・ 学習の振り返りとまとめの実施 ・ 構造的な板書とノート指導 ■ 言語活動の充実（話し合う場の設定 ※「目をつなぐ」） ■ 自分づくり教育の推進（たく生きプログラムの活用） ■ スキルタイム・読書タイムの計画的な実施 ■ 学習習慣を身に付ける家庭学習の充実 ■ 個別的教育支援計画・指導計画に基づいた特別支援教育の充実 ■ GIGAスクール環境を生かした情報教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 給食センターの栄養士と連携した食育の充実 ■ 学校医や薬剤師と連携した健康指導・健康相談の充実 ■ 体育科の授業の充実（運動の楽しさの実感） ■ 業間時間（25分間）の確保（運動の日常化） ■ 悩んでいることや困っていることを相談できる体制の充実（スクールカウンセラー、さわやか相談員、児童支援教諭等） ■ 仙台版防災教育の推進 ■ 新型コロナウイルス感染症の予防に関する指導
<p>■ 持続可能な開発目標（SDGs）との関連を図った学習・活動の推進</p>		

目指す教職員像

児童・同僚・保護者・地域から信頼される教職員

- 子供一人一人の成長を願い、喜び合う教職員
- 謙虚に話を聴く教職員
- 子供の気持ちに寄り添い、児童一人一人を大切にしている教職員
- 目的や目標を共有し、組織の一員として連携・協働する教職員
- コンプライアンス意識が高い教職員
- 笑顔のすてきな教職員
- 子供の目線で考える教職員
- 学び合い、楽しく分かる授業を心掛ける教職員
- 学年を超えた情報共有を図り、他の学年の課題も自分事として考える教職員

令和4年度 協働型学校評価の重点目標具現化のための具体的取組

学校

- あいさつを含めて「人と人が心と言葉をつなぐ」ことの意義や方法について、教育活動全体で指導する。
- 子供たち自身に重点目標具現化のための方法について、考えさせ、実行させる（委員会活動・学級活動等）。
- あいさつがよくできる子供を称賛し、学級や学年に広める指導をする。
- 教職員や6年生が子供たちの模範となるあいさつをする。
- 子供たちと地域の方々が連携・協働した学習活動を実施し、子供たちの地域とのつながりを深め、広げる。

家庭

- 心と言葉をつなぐあいさつをする。
- あいさつに一言付け加えてコミュニケーションを深める。
- よいあいさつができたらほめる。

自分から進んで心と言葉をつなぐあいさつをしよう。
～目をつなごう！～

地域

- 児童や保護者、地域の方とあいさつをする。
- あいさつに一言付け加えてコミュニケーションを深める。
- 児童の応対がよいときは、ほめる。